



滝野東小学校だより

令和2年1月7日 文責 神田

本年もよろしくお願い申し上げます ～成長を実感する3学期～

令和2年がスタートしました。今年は、東京オリンピック開催の年です。多くの外国人観光客が日本を訪れることでしょう。日本の景色の美しさに触れてもらうだけでなく、日本人の礼儀正しさや親切さ、マナーの良さを伝える絶好の機会です。子どもには、オリンピック期間中、様々な種目の競技で日本人選手を応援するだけでなく、世界中の国々からやってきた選手たちにも温かい声援を送ってほしいと願っています。

また、オリンピックに続いてパラリンピックも開催されます。障害者が競技するスポーツ種目にも目を向けるよい機会となることでしょう。オリンピックは、「平和の祭典」と言われています。スポーツを通して、国と国、人と人との結びつきが強くなる様子を間近に見ることができるのは、地元開催ならではです。

さらに、世界各国の選手の見事な動きにあこがれ、夢を持つ子どもがたくさん出てくることでしょう。わたしたち教職員は、そんな子どもの夢を応援し、その夢を大きく膨らませることのできる学校を作っていきたいと考えています。今年も、子どもの明るく学ぶ姿と元気なあいさつが通い合う学校を目指します。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



6年生 租税教室開催 ～社会「税金とわたしたちの暮らし」～

12月20日(金)、6年生対象に「租税教室」が開催されました。講師として、加東市役所税務課の玉脇さんと仁尾さんに来ていただきました。この事業には、子どもに税の使いみちや役割、その必要性について理解させるというねらいがあります。また、将来、納税者として社会や国の在り方を主体的に考える人材を育成するというねらいもあります。

玉脇さんからは、まず、税金を払ったことがあるかという質問がありました。この質問には、多くの子どもが挙手しました。子どもから出た意見は、「消費税」でした。他にも、「印税」や「所得税」といった意見も出ました。玉脇さんからは、他にも「法人税」「酒税」「たばこ税」等、税金には50種類もあることを教えていただきました。また、「税金はあった方がよいのか、なくなった方がよいのか」という質問には、約3分の2の子どもが「税金はあった方がよい」と答えていました。

その後、視聴したビデオには、税金のあるときとないときとは、火事が起こったときの対応がどのように違うのかが対照的に描かれていました。税金がないと公共サービスがなくなり、すべての面で個人負担が発生することもよく分かりました。

最後に、教育費が話題になりました。小・中・高校の12年間で1人あたりにかかる教育費は、1125万6千円であること、その約10人分のお金が1億円であることを教えていただきました。実際に1億円の見本を見せていただき、そのお金の重みと税金の大切さを肌で感じることができました。

